

ボクの

Kagami x Kuroko fanbook

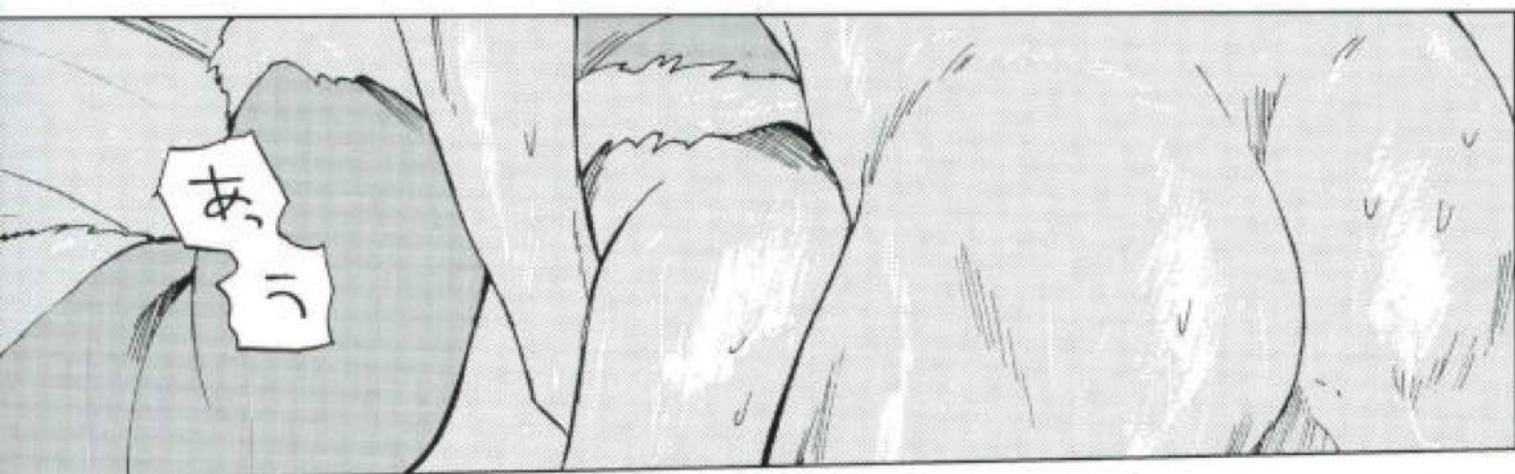
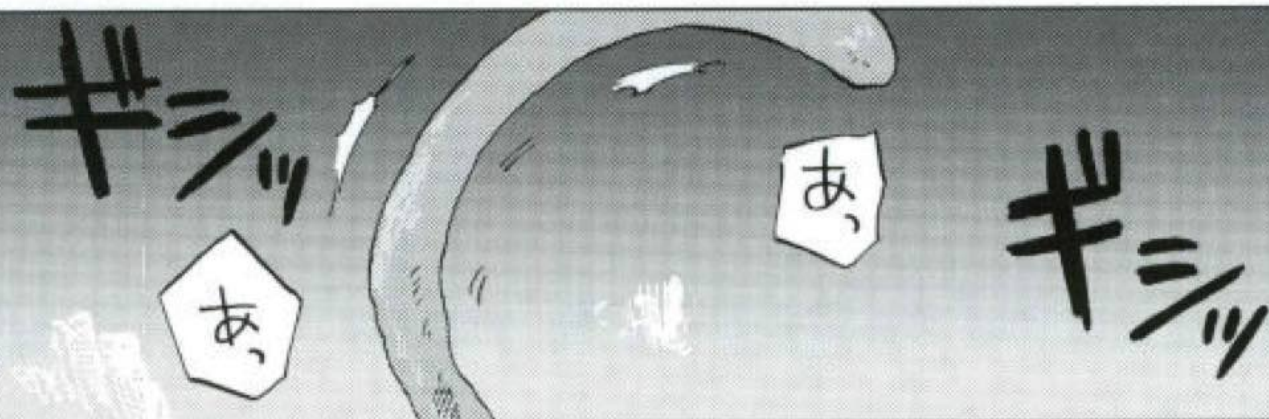
赤い

鬼

RIS



猿の尻は  
赤いと聞いてたけど



こいつの尻は  
なんでこんな白くて  
エロいんだ

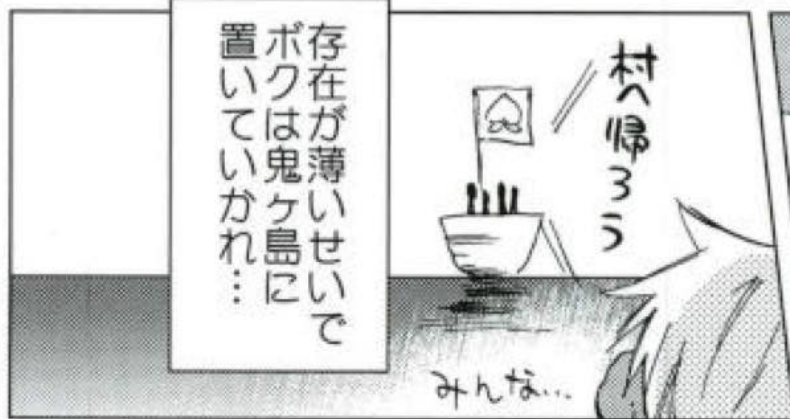
ボツの  
赤鬼くん







なんで  
こんなコトに  
なったんだっけ…



村へ帰ろう

存在が薄いせいで  
ポクは鬼ヶ島に  
置いていかれ…

みんな…

鬼に説教をしに  
鬼ヶ島まで  
来たものの…



しょうがない  
泳げる距離じゃ  
ないし…  
迎えが来るまで  
鬼ヶ島で  
過ごそう



あー  
腹減ったー







ボクを

キミの家に  
置いて  
くれない  
ませんか？







?

じゃあ  
どうしてですか？

赤鬼くんってすごいな  
こんなにもてなして  
くれるなんて…

もっ

のんきなポクは  
素直に  
喜んでた

……  
お前のために  
決まってるんだろ…

夜に  
なるまでは…

そこに  
寝ろ

え？  
いいんですか？





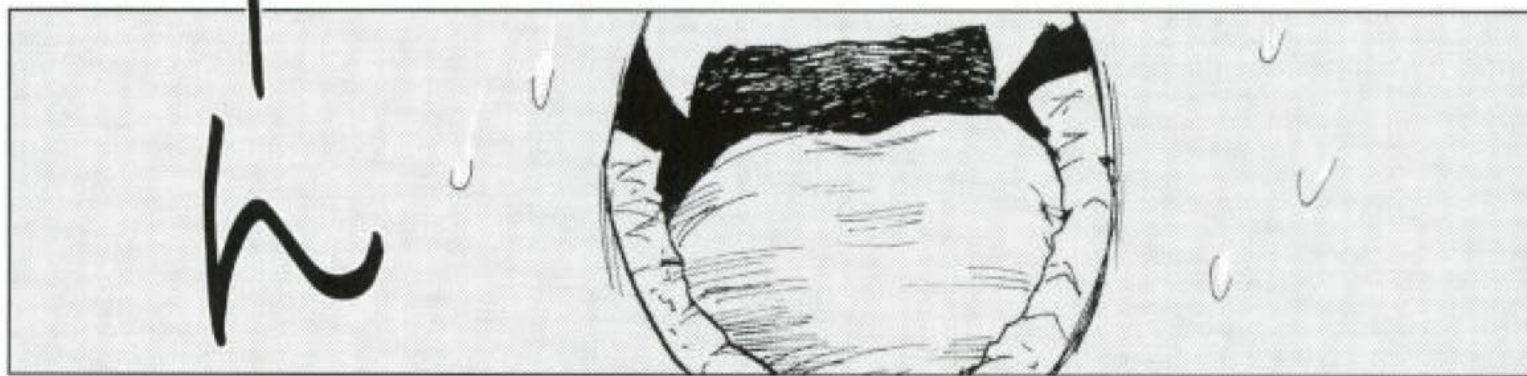


ボクなんて  
食べても  
不味いですよ  
...

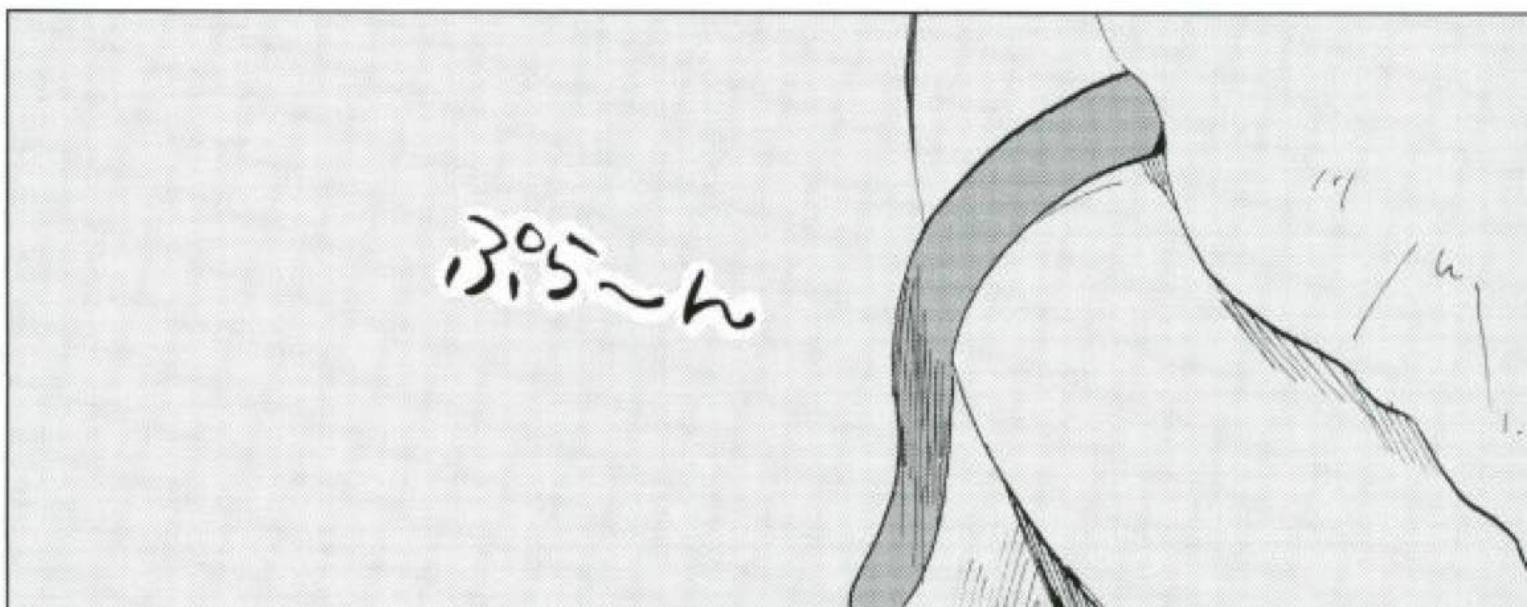


ま、まさか  
食べる気  
ですか!?

もど" もど" もど"



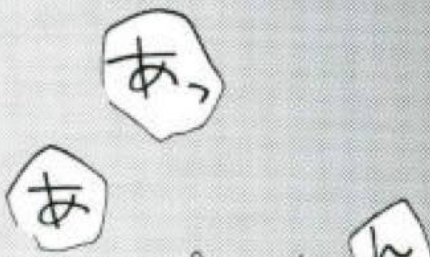
あーん



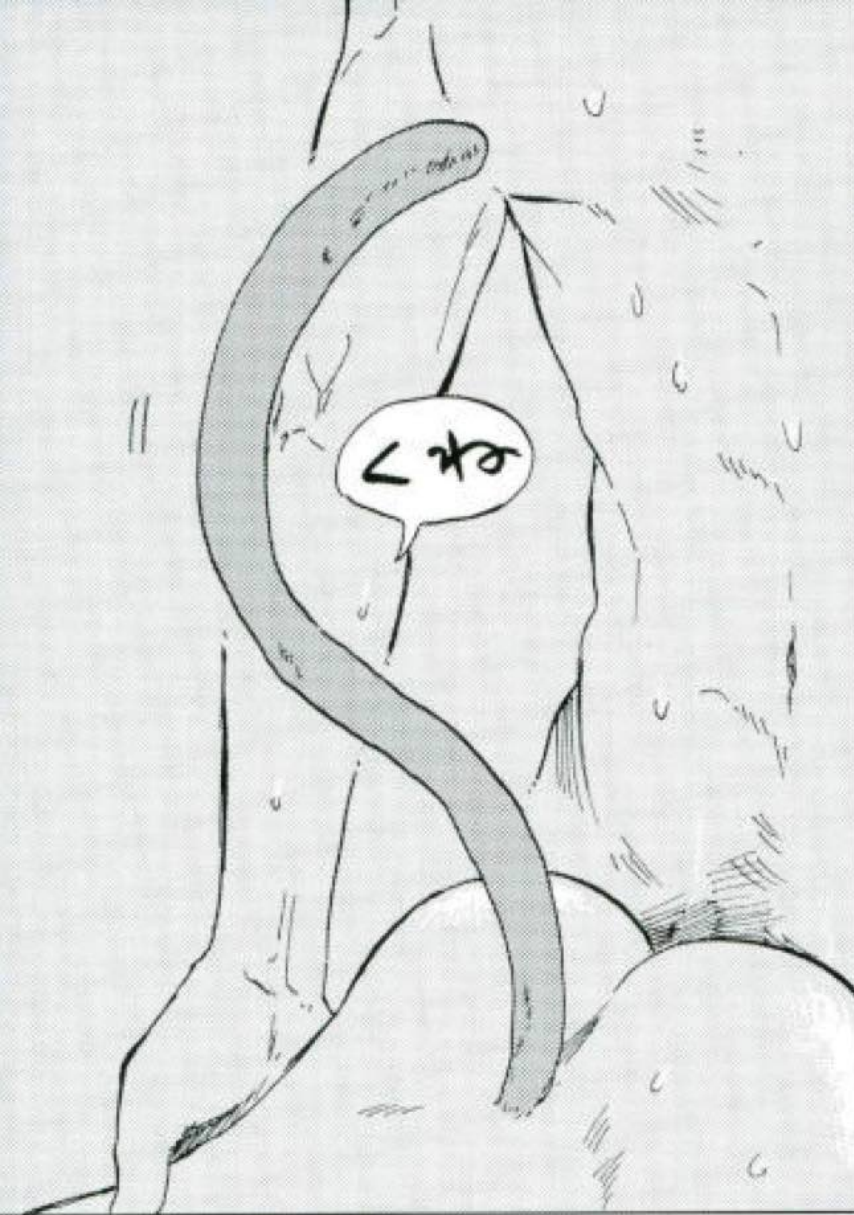
タタで泊まらせて  
くれるわけ  
なかったんだ…



しかし  
悲しいコトに  
赤鬼くんにとつて  
ボクの体は意外と  
良かったらしく…











く  
れ  
る  
の  
も  
こ  
じ  
い  
し  
て  
い  
く  
し  
て  
い  
く  
し  
て



夜を円滑に  
進めるため…





それだけ...

は...!

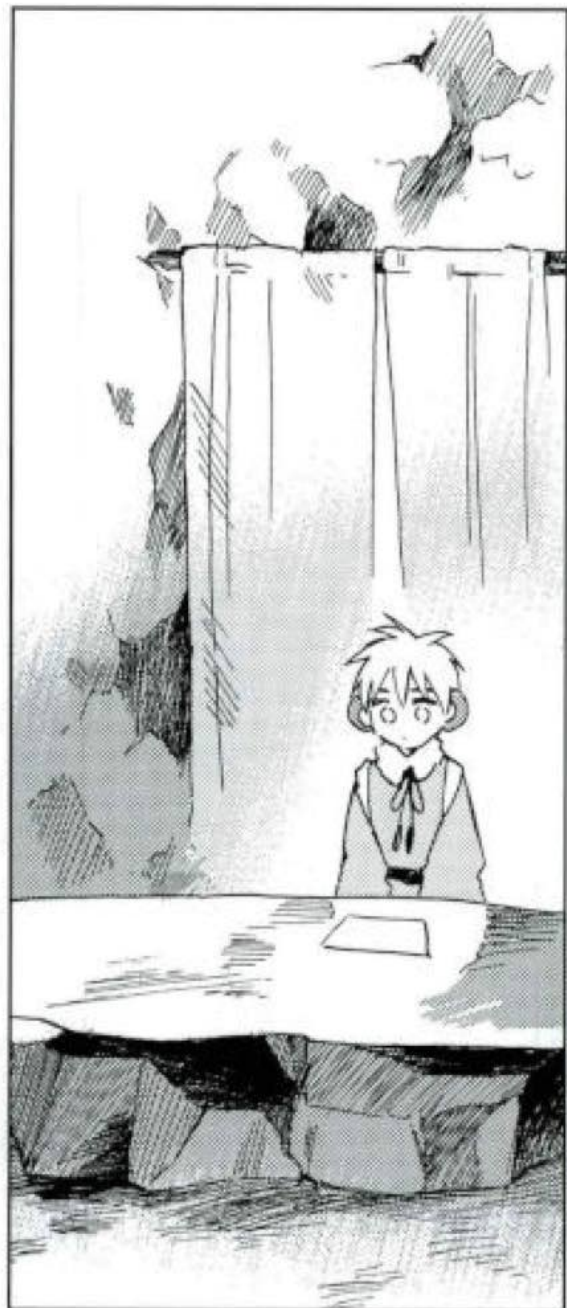


それだけ  
なんだ...



黒子!?





赤鬼く〜く  
今までお世話に  
なりました。  
僕が家に帰ります。  
さようなら。

黒子





赤鬼？  
今まで  
赤鬼の所に  
いたのか？

でも…  
まだ赤鬼くんが  
狩りから  
帰って来なくて…



黒子  
準備は出来たか  
行くぞ



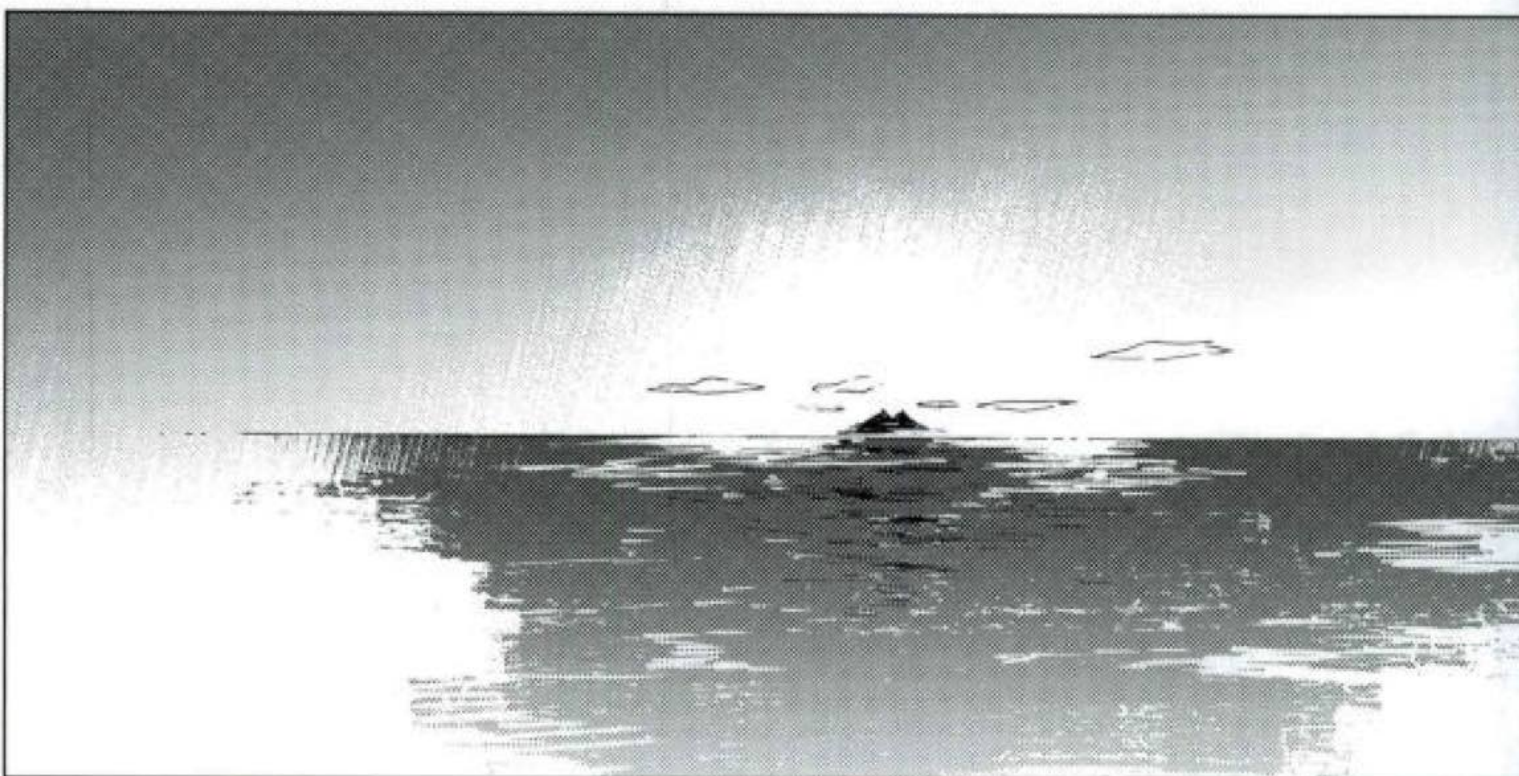
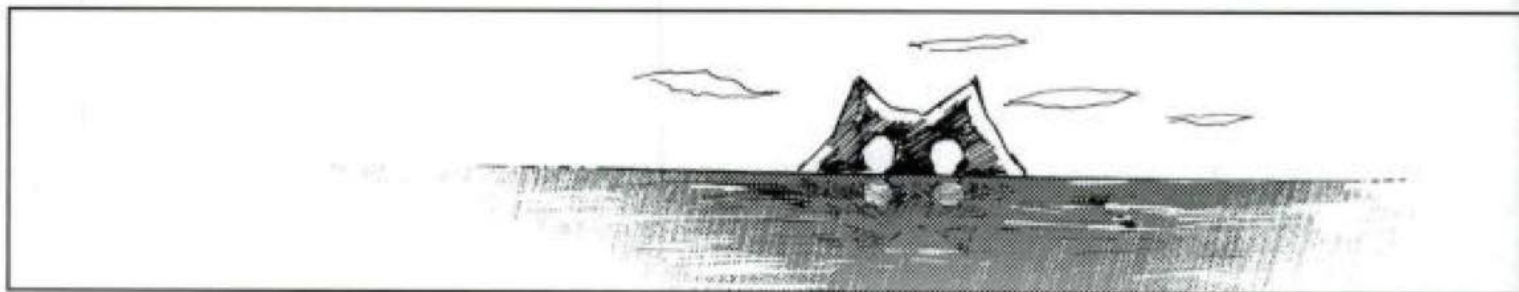
あいつ…  
黒子のコトは  
知らないと  
言っていたのに…



猿？

さあ  
見てねえ  
けど

ザア…



黒子っちーっ  
よかったああ

置いてっちやっつて  
ごめんねええ

あれ？  
黒子っち肉付き  
良くなってるない？

肌のせい  
いいし…

肌のせい  
です

置き去りにして  
悪かった  
黒子…

いえ…  
ボクこそ  
心配かけて  
すみません

そういえば  
鬼の世話に  
なっていたんだらう？  
大丈夫だったか？

え？

鬼ヶ島では  
家に置くことは  
求婚の意になるそうだ

まあ黒子は  
オスだから  
関係ないが…

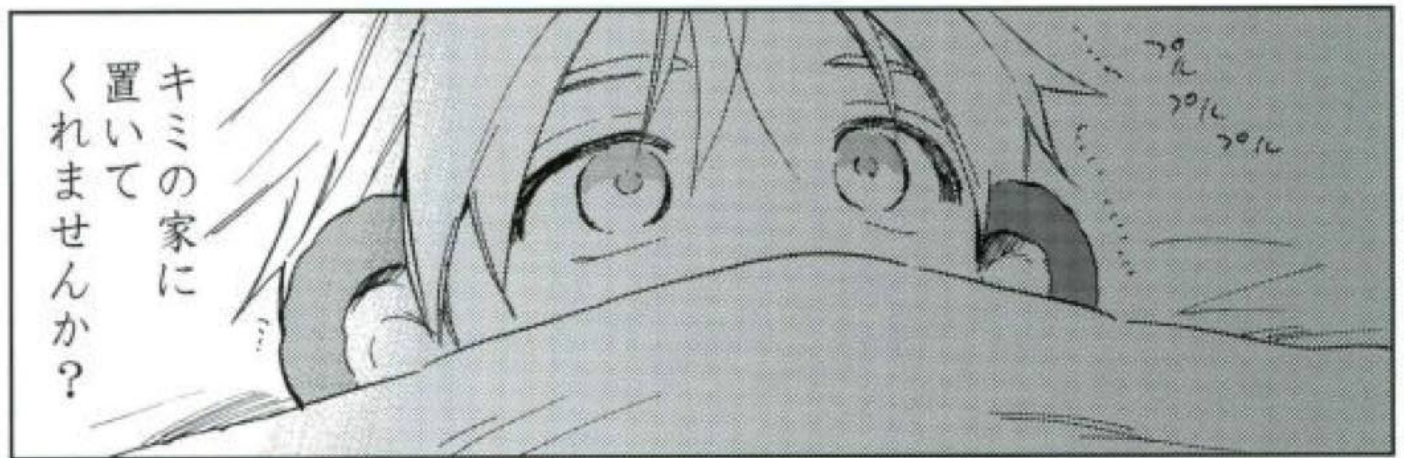






家に置くことは

求婚の意に…



キミの家に置いてくれないか？




ダメじゃねえ

火神くんは…  
対価として  
ボクを抱いてたんじゃ  
なくて…

火神くんは…

…ボクと…





ボクと…  
結婚して  
くれたのに…







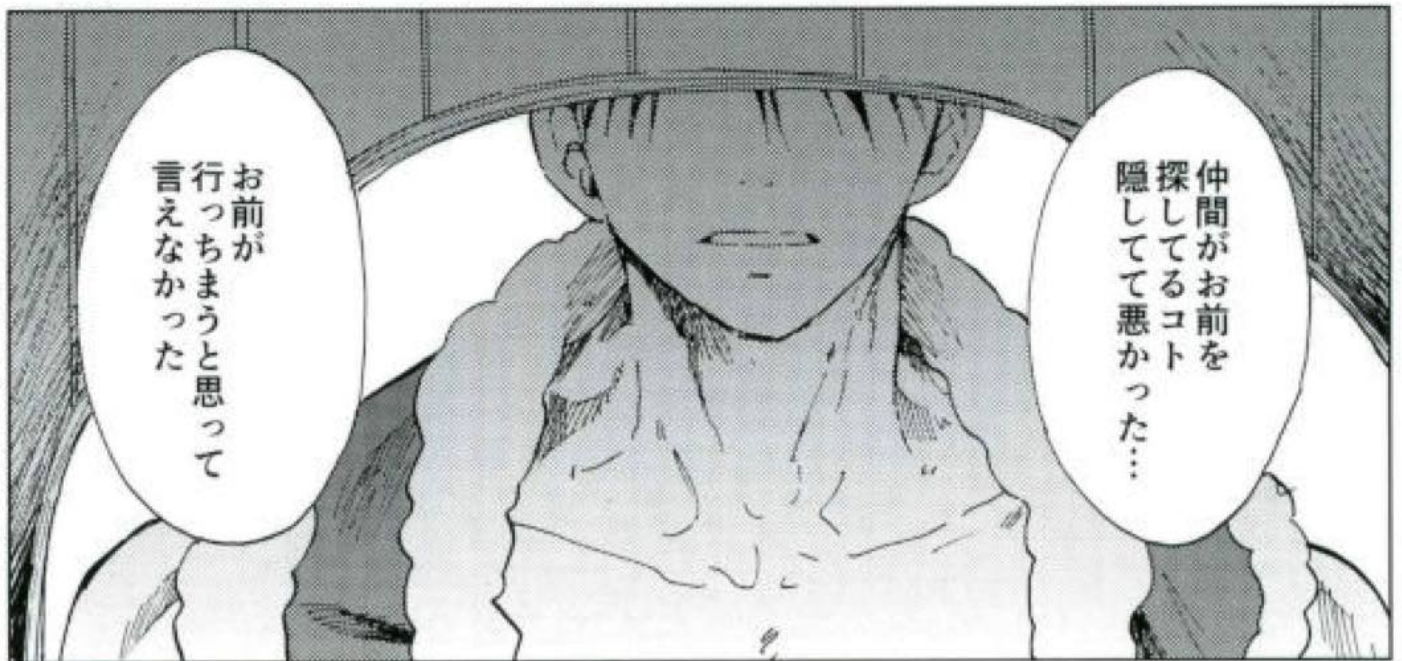
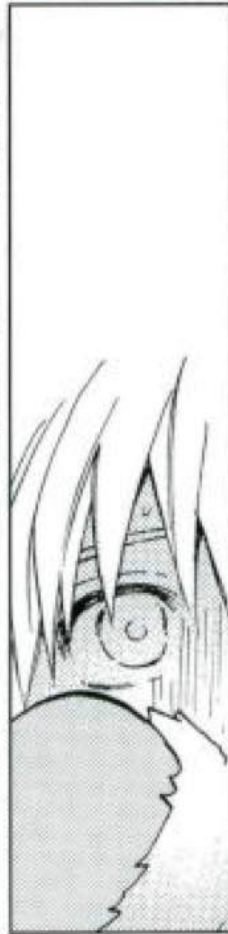
すごく  
怒ってる...

ガ  
ガ  
ガ

ガ  
ガ  
ガ

ガ  
ガ  
ガ











どんな顔で  
言ってるのかなと  
思ってる…

火神くんって  
すうごく  
可愛かったん  
ですね





んなこと  
言ったって  
オレは…



赤の他猿に  
求婚されて  
それを受け入れちゃうって…  
火神くん  
流されすぎじゃ  
ないですか？

はあ？  
求婚前に  
会ってたじゃ  
ねえか

ちよっと  
話しただけです



お前に初めて  
会った時から  
ずっと…



言ってください  
黙ってたら体に  
悪いですよ  
ほら火神くん  
ほらほら

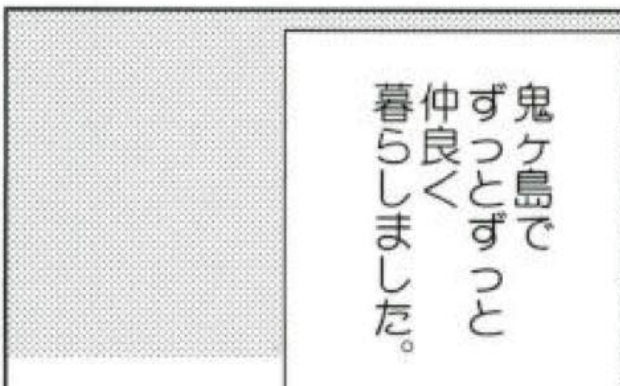
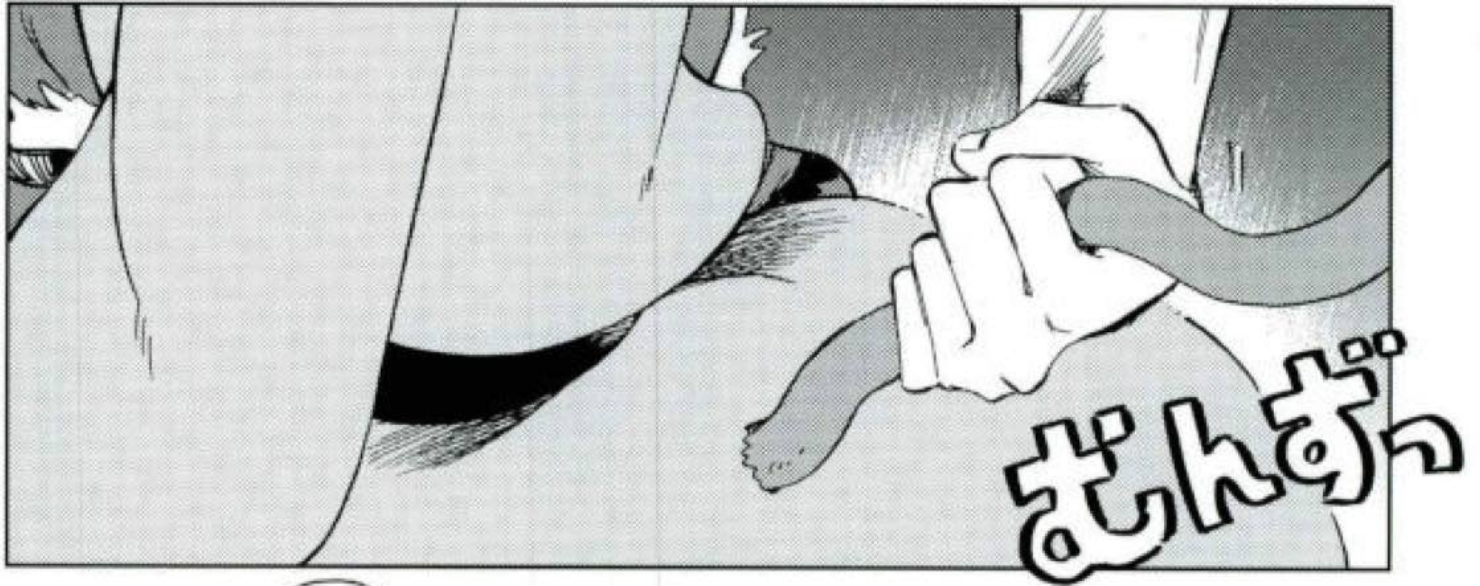
……

初めて  
会った時から…  
オレは…



いや…  
…  
なんでも  
ねえ…

なんですか  
言っ  
てください



鬼ヶ島で  
ずっとずっと  
仲良く  
暮らしました。

赤鬼と  
お猿は

